

2019年2月2日臨時理事会

開催日時：2019年2月2日（土）午前10時～12時30分

開催場所：パラリンピックサポートセンター4階

出席理事：岡本依子、阿部海将、大橋卓生、安藤尚徳、小野原裕昭、小池隆仁、
牧野文彦、高木伸幸、高橋美穂、館和男、初瀬勇輔

欠席理事：金原昇、青山英世、金珍秀、桜岡東寛、佐藤公彦、瀬尾健一

欠席監事：阿部慎史、成松和彦

オブザーバー：阪口朗、申東準、長野修士

冒頭、岡本依子副会長より、挨拶がなされた。

次いで、大橋卓生専務理事より、理事総数17名のうち理事11名が出席しており、定款第36条第1項に定める定足数を満たしていることから、本理事会が有効に成立した旨宣言された。

議長の選定に移り、定款第33条第2項に基づき、理事の互選で会長・専務理事・常務理事の中から阿部海将専務理事が議長として選定された。

I 審議事項

第1号議案 国内競技大会の電子防具システムレンタル発注業者選定ガイドライン制定

大橋専務理事より、第1号議案資料に基づき、競技委員会で策定した「国内競技大会の電子防具システムレンタル発注業者選定ガイドライン」の内容について説明がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、満場一致で原案のとおり承認された。

第2号議案 各種選考基準承認

(1) キョルギ・カデット強化指定選手選考基準

小野原裕昭常務理事及び安藤尚徳常務理事より、第2号議案資料に基づき、キョルギ・カデット強化指定選手の選考基準案が説明なされるとともに、同案のうち「3選考方法」のうち(3)記載の事項を削除する旨修正が加えられ、質疑応答ののち、修正案を議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

(2) 2019アジアジュニア・カデット選手権大会代表選考基準

小野原常務理事及び安藤常務理事より、第2号議案資料に基づき、2019アジアキョルギ・カデット選手権大会代表選考基準案について説明がなされ、質疑応答ののち、修正案を議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 2019年度JOC強化スタッフ推薦

議長より、強化委員会内で調整ができておらず、次回の理事会にて改めて提案する旨説明がなされた。

第4号議案 UNIVAS入会検討

大橋専務理事より、第4号議案資料に基づき、スポーツ庁より大学スポーツの統括団体 UNIVAS 入会の勧誘があった旨説明がなされ、当協会として UNIVAS への入会をするか否かについて検討されたい旨提案がなされ、意見交換を行った。意見交換の結果、現時点で UNIVAS 入会の可否を決めるのではなく、まずは、当協会傘下の大学関係者の話を聴き、現状を把握すべきとの方向性が示され、満場一致で承認された。

第5号議案 昇段昇級規程改正

安藤常務理事より、第5号議案資料に基づき、改正案案について説明がなされ、質疑応答ののち、修正案を議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

II 報告事項

1 2019年度予算検討

議長及び大橋専務理事より、報告資料1に基づき、2019年度予算（一般会計）の策定状況が報告された。

- 収入面では、会員数が2000名を切っており、会員増となる施策が必要である。また、マーケティング委員会より、2019年度のスポンサー獲得目標が出されておらず、現状維持とすれば、2019年度もマイナス予算となり得る。
- 支出面では、各専門委員会の予算がかなり多額になっている。しかしながら、例えば、医科学委員会では今年度約70万円の予算を計上しながら、一銭も使っていないという現状にある。他の委員会でも予算と実行との乖離が大きいところもあるので、できる限り正確に予算を計上してもらいたい。このあたりの調整は常務会で行って欲しい。

2 強化委員会報告

議長及び小池常務理事より、報告資料2に基づき、イギリス GB Taekwondo でコーチ研修中の中川貴哉氏の研修状況や今後の予定について報告された。

- これまで約半年間、GB Taekwondo でコーチ研修を行っているが、GB Taekwondo からは熱心に研修に取り組んでいる旨高い評価を得ている。
- 前回の渡航前にビザを取得できなかったため、2月に中旬に一旦帰国することになるが、すぐにビザなしで再入国できないことから、ビザを取得してイギリスに渡航し、GB Taekwondo での研修を継続することとなる。GB Taekwondo 側もそれを望んでいる。
- 現在、JOC にも協力を仰ぎ、UK Sports からビザに必要な資料を取得しており、再渡航は4月頃になる見込みである。
- GB Taekwondo は1年の予定で中川氏の生活環境を整えており、中川氏が帰国している間も家賃等が発生している。この点は中川氏がJOCより受給している補助金でカバーできないため、当協会にて負担する必要がある。金額が確定次第、理事会にて承認を得ることとしたい。

3 強化拠点検討チーム報告

小池常務理事より、報告資料3に基づき、前回の理事会後の1月18日に「NTCに関する要望書」を提出した旨報告された。

4 平成29年度助成金事業JSC実態調査の結果

大橋専務理事より、2018年12月の理事会にて報告した日本スポーツ振興センターの監査の結果に基づき、63万1000円を返還した旨報告された。

5 謝金・日当・交通費に対する源泉所得税の扱い

大橋専務理事より、当協会の源泉徴収について昔からの慣例で実施されているが、税法上の扱いと異なる扱いがなされていると思われる点があることから、顧問税理士と協議のうえ、所轄の渋谷税務署に確認したうえで、謝金規程等を見直す方針である旨報告された。

6 1月常務会報告

安藤常務理事より、本年1月の理事会で常務会に委任された事項の検討結果が次のとおり報告された。

(1) 専任スタッフが国内競技大会のセコンドにつくことの可否の検討

- 選手からすればナショナルコーチがセコンドにつくと不公平感を持つという点、及び審判については審判を行う大会はセコンドにつかないようにしているため、審判を務める者との不公平感という点について理事会で意見が出された。
- これに対して、審判もセコンドにつくことを認める、という意見が出されたが、大会の公平な運営ができるかという指摘があった。
- 方向性としては、ナショナルコーチも審判もセコンドにつかずに大会を運営するのが理想である。
- しかしながら、ナショナルコーチが自身の道場の生徒のセコンドにつくという点は感覚的な不公平感であり、審判がセコンドにつくという点は大会の公正さを失うという面があり、両者は異なるものではないか。
- 今後の方向性としては、ナショナルコーチも審判もセコンドにつかないということによいとしても、明確な基準を設ける必要があり、正会員も含めて慎重に議論すべき、との結論となった。

(2) ユニバーシアード（キョルギ・プムセ）選考基準の追記事項

- キョルギについて、推薦基準（赤帯でユニバまでに黒帯以上+2018開催の都道府県協会大会の優勝・準優勝者）を追記した。
- プムセについて、特段追記は行わなかった。

(3) AJTA ナショナルアカデミーに関するプロジェクトチームの人選

- 次のメンバーを人選した。
小池常務理事・牧野常務理事・安藤常務理事・楠本一樹（ナショナルアシスタントコーチ）・木下まどか（パラテコンドー委員）

(4) JOCネクストシンボルアスリートの推薦者

- 前田秀隆選手を推薦する旨決定した。

7 千代田高等学院との契約締結交渉の進捗

牧野常務理事より、次のとおり報告された。

- 前回の理事会後に、千代田高等学院には理事会で承認された旨を伝えた。
- 今後は、当協会として千代田高等学院に依頼する事項をまとめる。

- 現在、入試等もあり先方が多忙のため、本年4月以降に具体的に交渉することとなる。
- なお、先方より、当協会の役員に施設を視察に来て欲しいとの要望がある。

8 事務所移転の準備状況

大橋専務理事より、報告資料8に基づき、事務局にてJSPO・JOCと引越しについて打ち合わせを行うなど移転の準備を進めている旨報告された。

- 移転時期は本年6月前半から中旬あたりで調整している。
- 新事務所のレイアウトと電源工事が必要がある。
- 事務局内の備品や資料で移転に際して持ち出すものと処分するものを整理する必要がある。

9 その他

(1) 新事務局長採用

大橋専務理事より、新事務局長の候補者と最終的な詰めを行っており、3月の定例理事会で採用の承認をいただく予定である旨報告された。

(2) 全国少年少女選抜テコンドー選手権報告

議長より、先に実施された全国少年少女選抜テコンドー大会でのたくさんのゴミを散乱したり、トイレの使い方が汚いなど羽島市よりお叱りを受けたことが報告され、今後の大会では「来たときよりもキレイに」を徹底して行わなければ、大会自体ができなくなってしまう旨指摘された。

(3) ダイテックス表彰辞退の撤回

議長より、2月の全日本テコンドー選手権の際に表彰する予定であった賛助会員でありスポンサーであるダイテックス社から辞退の申入れがあったが、同社担当者と金原会長とが直接面談し、表彰辞退を撤回していただいた旨報告された。

(4) 過去の寄附（日田天領水）に関する問い合わせ

大橋専務理事より、事務局に日田天領水の石井氏より十数年前に当協会に寄附をした旨の連絡が入り、当時の資料がほとんど残っておらず、当該事実がなかなか確認できないため、金原会長・阿部専務理事と協議している旨報告された。

《添付資料》
省略

上記は原本と相違ありません。

2019年4月9日 専務理事 大橋卓生

